SONY®

4-162-657-**03**(1)

FM/AM PLLシンセサイザーラジオ

準備する

ラジオを聞く

時計を使う

その他

ラジオをもっとクリアに聞きたい

各部のなまえ

設定モード一覧

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-R351/R353

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

⬇

安全のための注意事項を守る

6〜13ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

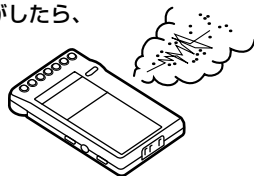
定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターで充電中の場合は、コンセントから抜く
❸ ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電･破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

破裂

行為を禁止する記号

接触禁止

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

⚠危険・⚠警告・⚠注意 6
電池についての安全上のご注意 10

準備する

付属品を確かめる 14
充電式電池で使う 15
乾電池で使う 18

ラジオを聞く

イヤーレシーバーを使う 20
選局方法について 21
現在いるエリア(地域)を設定して聞く―*スーパーエリアコール選局* 22
いつも聞く放送局を記憶させて聞く―*マイメモリー選局* 28
周波数を選んで聞く―*マニュアル選局* 31
受信状態をよくする 32
誤操作を防ぐ―*ホールド機能* 34

時計を使う

時計を合わせる 34
希望の時刻にブザーを鳴らす—*アラーム機能・タイマー機能* 37
一定の時間後に電源を切る—*パワーオートオフ機能* 41

その他

使用上のご注意 42
故障かな？と思ったら 45
主な仕様 48
保証書とアフターサービス 50
ラジオをもっとクリアに聞きたい 51
各部のなまえ 56
設定モード一覧 60

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

別売りのラジオ用充電キットBCA-TRG2KIT を使った場合に該当する注意事項も含んでいます。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

充電するときおよび家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない

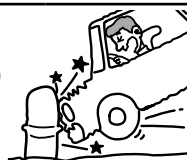
分解しない

感電の原因となります。充電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間の外出･旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ･破裂･発熱･発火･誤飲による大けがや失明を避けるため、
10〜13ページの注意事項を必ずお守りください。

⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

充電式電池、乾電池、ボタン型電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド
(Ni-Cd)
ニッケル水素
(Ni-MH)
リチウムイオン
(Li-ion)

乾電池
アルカリ
マンガン

ボタン型電池
アルカリ
リチウムなど

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯･保管する。
- 火の中に入れない。分解、過熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ･炎天下の車中など、高温の場所で使用･保管･放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯･保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠危険 充電スタンドを付属している場合

充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠危険 バッテリーキャリングケースを付属している場合

付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属のバッテリーキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、充電式電池をコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯･保管しないでください。電池の＋と－が金属とつながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠警告　乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と−を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意　乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ･炎天下の車中など、高温の場所で使用･保管･放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

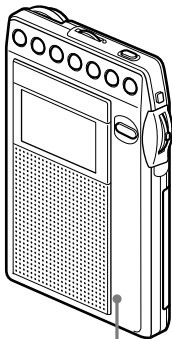
お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、リサイクル協力店にご持参ください。

▶準備する

付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

- ラジオ本体（1）

購入されたラジオの型番を確かめてください。

ICF-R353

- 充電スタンド（1）
- ACパワーアダプター（1）

- 単4形充電式ニッケル水素電池*[1]（1）
  （バッテリーキャリングケース付）

*[1] ニッケル水素電池は本体に装着されています。

ICF-R351

- 単4形（R03）マンガン乾電池（お試し用）*[2]（1）

*[2] 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

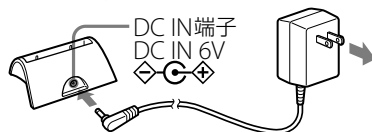
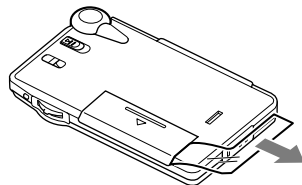
共通

- キャリングケース（1）
- イヤーパッド*[3]（1）
- ラジオを聞こう！かんたん操作ガイド（1）
- 取扱説明書（1）
- 周波数一覧表（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

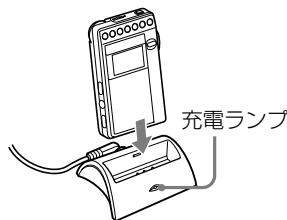
*[3] イヤーレシーバーが耳にぴったり合わないときは、付属のイヤーパッドをイヤーレシーバーに取り付けてご使用ください。

充電式電池で使う

はじめてお使いになるときは、充電式電池を充電してください。
ICF-R351をお使いの場合は、別売りのBCA-TRG2KITが必要です。

1 充電スタンドのDC IN端子と壁のコンセントにACパワーアダプターをしっかり差し込む。

2 絶縁シートを取り除く。

電池ふたがはずれたときは、44ページをご覧ください。

3 ラジオ本体を充電スタンドにのせる。

充電スタンドの充電ランプが赤色に点灯し、充電が始まります。

充電時間は約3時間です。
充電ランプが消えて、充電が完了します。

電池の持続時間

ソニー単4形充電式ニッケル水素電池 NH-AAA 使用時

JEITA*(単位:約　時間)

放送の種類	FM	AM
イヤーレシーバー使用時	29	62
スピーカー使用時	10	12

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は周囲の温度や使用状況により、短くなる場合があります。

再充電のめやす

電池が消耗すると次のように表示が変わります。残量表示を見て、再充電してください。

残量表示

充分

あと少し

カラ
残量がなくなると「ピーッ」と鳴り、電源が切れます。
充電してください。

充電式電池の交換のめやす

充分に充電しても、持続時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口へお問い合わせください。充電池の寿命は、充電放電300回が目安です。

ちょっと一言

はじめて充電するときや、旅行などで長時間使用しなかったあとでは、持続時間が通常より短くなることがあります。何回か充電、放電を繰り返すと、通常の状態に戻ります。

電池交換時のご注意

3分以内に入れ換え、充電を開始してください。3分以上経過すると、現在時刻やマイメモリー選局で記憶させた放送局が消えてしまいます。そのときは、もう1度設定してください。

電源が突然切れてしまった。

- 「ピーッ」と鳴って電源が切れたら、電池がカラになったので充電してください。
- パワーオートオフ機能が動いている。
  電池のむだな消耗を防ぐために、自動的に電源が切れるようになっています。
  本機は一定時間が過ぎると、自動的に電源が切れるように設定できます。（お買い上げ時は90分に設定されています）
  この機能を解除することもできます。
  詳しくは41ページをご覧ください。

充電についてのご注意

- 誤って乾電池を充電しないようにご注意ください。
- 充電は周囲の温度が10℃～35℃の環境で行ってください。
- 充電するときは、ラジオ本体を正しい向きでしっかりと充電スタンドにのせてください。正しくのっていないと充電されません。
- 充電開始時、充電スタンドの充電ランプが点灯していることを確認してください。
- 充電ランプが点滅してるときは、
  －誤って乾電池を入れている
  　充電式電池に入れ換える。
  　乾電池の種類、残量によって、点滅するまでの時間は変化します。
  －何も入っていない
  　そのままラジオをお聞きになれます。
  　充電ランプは点滅したままです。
  －充電式電池が正しい向きで入っていない。
  　＋、－の向きを確かめ、正しく入れ直してください。
- 充電中にラジオ本体を充電スタンドからはずしてのせ直すと、充電終了までにかかる時間は、のせ直した時点から約3時間となります。

充電スタンドについてのご注意

- 付属の充電スタンドは、本機専用です。本機以外の充電はできません。
- ACパワーアダプターは100V専用のため充電スタンドは海外ではお使いになれません。
- 充電中は充電スタンドが熱くなりますが、危険ではありません。

次ページへつづく

充電についてのよくある質問

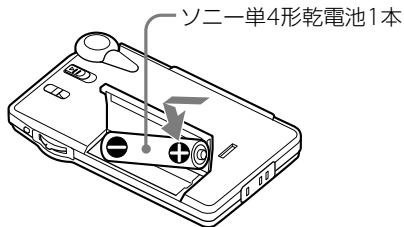
Q: 充電スタンドにのせてあれば、放送を聞きながら充電できますか？
A: はい。できます。

Q: FM放送を受信すると雑音が入るのはなぜ？
A: イヤーレシーバーのコードは、FM放送用の受信アンテナとして働きます。スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードは受信アンテナとして、できるだけ長く伸ばしてお使いください。

Q: 充電の途中に充電スタンドから本体をはずすと、充電終了時間が長くなるのはなぜ？
A: 本機の充電はタイマー式です。電池の残量にかかわらず、充電スタンドにのせた時点から約3時間の充電を行います。充電が終了すると、充電スタンドのランプが消えます。充電スタンドからラジオ本体をはずしてのせ直すと、電池の充電状態に関係なく、あらたに約3時間の充電が開始されます。

Q: 充電ランプが消える前に、充電スタンドからラジオをはずしても使えるの？
A: お使いいただけます。充分な充電が行われていないときは電池の持続時間が短くなります。

乾電池で使う

乾電池を電池入れに入れ、ふたを閉める。

電池ふたがはずれたときは、44ページをご覧ください。

ちょっと一言

はじめて乾電池を入れると、「AM12:00」が点滅します。時計を合わせる（34ページ）と点滅は止まります。

乾電池の持続時間

ソニー単4形アルカリ乾電池(LR03)使用時

JEITA*(単位:約　時間)

放送の種類	FM	AM
イヤーレシーバー使用時	50	105
スピーカー使用時	15	20

ソニー単4形マンガン乾電池(R03)使用時

JEITA*(単位:約　時間)

放送の種類	FM	AM
イヤーレシーバー使用時	24	56
スピーカー使用時	5.5	7.5

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換のめやす

乾電池が消耗すると、次のように表示が変わります。残量表示を見て、乾電池が消耗しきったら、新しい乾電池に交換してください。

残量表示

充分

あと少し

カラ
残量がなくなると「ピーッ」と鳴り、電源が切れます。新しい乾電池と交換してください。
交換後、電源ボタンを押すと、残量表示は「 」(充分)に変わります。

電池交換時のご注意

- 3分以内に入れ換えてください。3分以上経過すると、現在時刻やマイメモリー選局で記憶させた放送局が消えてしまいます。そのときはもう1度設定してください。
- 新しい乾電池を入れても、電源ボタンを押すまでは、電池マークは点滅し続けます。

イヤーレシーバーを使う

FM放送を聞くときは、お使いのイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

ご注意

- 内蔵のイヤーレシーバーのコードは無理に引っ張らないで、軽く引き出し止まったらそれ以上引っ張らないでください。
- ⑨(イヤーレシーバー)端子にイヤーレシーバーをつなぐと、内蔵のイヤーレシーバーから音は出なくなります。
- イヤーレシーバーを耳につけたまま巻き取らないでください。コードが顔に強く当たることがあります。
- 放送を聞きながらコードを引き出したり巻き取ったりすると、雑音が聞こえる場合があります。
- 手を添えないでいきおいよく巻き取ると故障の原因になります。

引き出す

イヤーレシーバー下部を持って引き出す。

イヤーピース(耳に入れる部分)は強く押さえずに、コードを持って引き出してください。イヤーピースを持ったまま引き出すと、故障の原因となります。

巻き取る

イヤーレシーバーのコードを持ちながら、巻き取りつまみを矢印の方向にずらす。

イヤーピースが収納部に納まるまで手を添えてください。

白色のエンドマークは引き出す目安です。

巻き取りつまみ

⑨(イヤーレシーバー)端子
別売りのイヤーレシーバーをつないで聞くことができます。

途中でコードが止まってしまったときは
コードを10cmほど引き出して、もう1度巻き取りつまみを矢印の方向にずらしてください。
イヤーレシーバーコードが衣服などのファスナーへはさみこまないよう充分に気をつけてください。

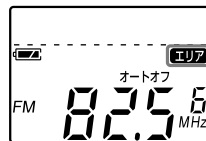
表示窓のバックライトについて

ライトボタンを押すと約5秒間点灯します。

選局方法について

FM、AM放送が3種類の選局方法(スーパーエリアコール選局、マイメモリー選局、マニュアル選局)のいずれかで受信できます。これらの3種類の選局方法の機能について説明します。

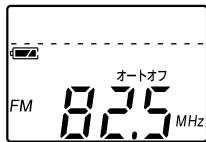
スーパーエリアコール選局

あらかじめ本機にエリア名「関東1」が設定されています。他のエリア(地域)番号に設定すると、そのエリア(地域)の放送局を受信できます(22ページ参照)。

スーパーエリアコール選局で受信しているときに表示

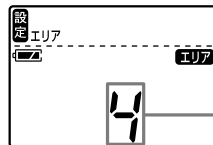
マイメモリー選局

いつも聞く放送局を自分でFM、AMそれぞれ7局まで記憶させることができます。
聞くときはメモリー選局ボタンを押すだけで受信できます（28ページ参照）。

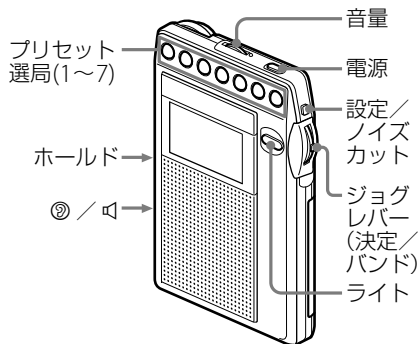
マニュアル選局

聞きたい放送局の周波数に合わせて受信します（31ページ参照）。

現在いるエリア（地域）を設定して聞く

―スーパーエリアコール選局

お買い上げ時は、千葉、埼玉、東京、神奈川で、そのままお使いいただける「関東1」のエリア設定になっています。

この地域でお使いになる場合は、エリアを設定する必要はありません。
「設定したエリア（地域）の放送局をスーパーエリアコール選局する」（26ページ）に進んでください。その他の地域でお使いになる場合は、現在いるエリアを設定してください。

現在いるエリア(地域)を設定する

「関東1」以外の地域でお使いになる場合は、右記の手順でエリアを設定してください。

1 電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。

表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「⊶」表示を消してください。

2 ◎／🔈切り換えスイッチで◎(イヤーレシーバー)または🔈(スピーカー)を選ぶ。

◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 設定／ノイズカットボタンを押す。

次ページへつづく

4 **ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「エリア」を選び、ジョグレバーを押す。**

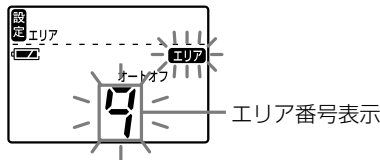
選ぶ:押し込まずに上下に動かす

決定/バンド

5 **ジョグレバーを押し込まずに上下に動かしてエリアを選び、ジョグレバーを押す。**

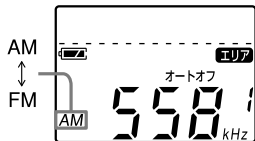
エリア番号は25ページの「エリア(地域)一覧」をご覧ください。

エリアが設定されます。

例)エリア名「近畿1」の場合

つづけて、設定したエリア内の放送局を受信するには、次の「設定したエリア(地域)の放送局をスーパーエリアコール選局する」の手順6へすすんでください。

1度設定した後は、次の「設定したエリア(地域)の放送局をスーパーエリアコール選局する」の操作に従ってスーパーエリアコール選局できます。ラジオをお使いになるエリア(地域)が変わったら、エリアを設定し直してください。

6 ジョグレバーを押し、バンドを選ぶ。

押すたびにバンド表示が変わります。

7 プリセット選局ボタン(1〜7)を押し、聞きたい放送局を選ぶ。

放送局はあらかじめプリセット選局ボタンに記憶されています。詳しくは付属の「周波数一覧表」をご覧ください。

プリセット選局ボタンは2秒以上押さない

2秒以上押すと、「ピピッ」という音とともに受信している放送局がマイメモリー(28ページ)に記憶されます。2秒以上押してしまったボタンにお好きな放送局を記憶させていた場合、記憶させていた放送局が入れ換わってしまいます。ご注意ください。

8 音量つまみで音量を調節する。

エリア(地域)一覧

エリア	エリア名	含まれる場所
1	**北海道**	北海道
2	**東北1**	青森　秋田　岩手
3	**東北2**	宮城　山形　福島
4	**関東1**	千葉　埼玉　東京　神奈川
5	**関東2**	茨城　群馬　栃木
6	**中部**	山梨　静岡　長野
7	**東海**	愛知　岐阜　三重
8	**北陸**	新潟　富山　石川　福井
9	**近畿1**	大阪　京都　兵庫
10	**近畿2**	滋賀　奈良　和歌山
11	**中国**	鳥取　島根　岡山　広島　山口
12	**四国**	徳島　香川　愛媛　高知
13	**九州1**	福岡　佐賀　長崎　大分
14	**九州2**	熊本　宮崎　鹿児島　沖縄
15	JR	東海道、山陽新幹線の一部の車両内。グリーン車内は除く。

設定したエリア（地域）の放送局をスーパーエリアコール選局する

現在いるエリア（地域）の設定を終了しているときは、以下の操作で設定したエリアの放送局（付属の「周波数一覧」参照）をスーパーエリアコール選局できます。

表示窓に「エリア」が表示されていない時は→
手順**1**から（23ページ）
表示窓に「エリア」が表示されている時は→
手順**6**から（25ページ）

1 電源を入れる。

表示窓に「o━」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「o━」表示を消してください。

2 ◎／◁切り換えスイッチで◎（イヤーレシーバー）または◁（スピーカー）を選ぶ。

◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 設定／ノイズカットボタンを押す。

4 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「選局モード」を選び、ジョグレバーを押す。

5 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かし「エリア」を選び、ジョグレバーを押す。

6 ジョグレバーを押し、バンドを選ぶ。

7 **プリセット選局ボタン(1〜7)を押し、聞きたい放送局を選ぶ。**

プリセット選局ボタンは2秒以上押さない

2秒以上押すと、「ピピッ」という音とともに受信している放送局がマイメモリー(28ページ)に記憶されます。2秒以上押してしまったボタンにお好きな放送局を記憶させていた場合、記憶させていた放送局が入れ換わってしまいます。ご注意ください。

スーパーエリアコール選局で受信したままでは良く聞こえないときは

中継局とは同地域で同じ放送をしている放送局のことです。中継局を受信することで受信状態がよくなる場合があります(詳しくは付属の「周波数一覧表」をご覧ください)。中継局を選局中は「中継局」が表示窓に表示されます。

1 **設定/ノイズカットボタンを押す。**

2 **ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「中継局」を選び、ジョグレバーを押す。**

現在いるエリア(地域)を設定して聞く

次ページへつづく

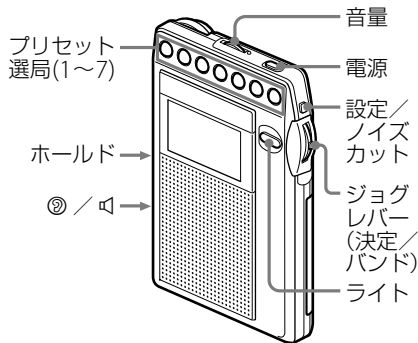
3 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして、良く聞こえる周波数が表示されたらジョグレバーを押す。

例)関東1 ／ NHK FMの場合

ご注意

- 放送局の中には中継局を持たない局もあります。その場合、ジョグレバーを上下に動かしても周波数は変わりません。
- マイメモリー選局やマニュアル選局では中継局を受信することはできません。必ず手順1から「エリア」を表示させて行ってください。
- ラジオをお使いの場所以外のエリアを選んでも、放送局を受信できることがあります。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く

—マイメモリー選局

放送局を記憶させる

1 電源を入れる。

表示窓に「○━」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「○━」表示を消してください。

2 ⓔ／◁切り換えスイッチでⓔ(イヤーレシーバー)または◁(スピーカー)を選ぶ。

ⓔを選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 記憶させる放送局を受信する。

スーパーエリアコール選局(22ページ)またはマニュアル選局(31ページ)で放送局を選びます。

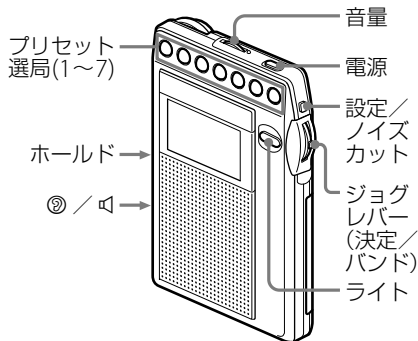
4 記憶させたいプリセット選局ボタン(1〜7)を選んで、「ピピッ」と音がするまで2秒以上押したままにする。

「エリア」または「マイ」が点滅します。

5 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「エリア」または「マイ」を選び、ジョグレバーを押す。

「エリア」または「マイ」が点灯し、受信している放送局が手順4で押した「マイ」のプリセット選局ボタンに記憶されます。

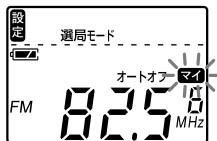
ラジオは、手順5で選んだ「エリア」(スーパーエリアコール)または「マイ」(マイメモリー)の選局モードで受信中になっています。つづけて放送局を記憶させたいときは、手順3〜5を繰り返してください。

記憶させた局を聞く

1 **電源を入れ、👂／🔈切り換えスイッチで👂(イヤーレシーバー)または🔈(スピーカー)を選ぶ。**

👂を選ぶとスピーカーから音は出ません。

2 **設定／ノイズカットボタンを押す。**

3 **ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「選局モード」を選び、ジョグレバーを押す。**

4 **ジョグレバーを上下に押し込まずに動かして「マイ」を選び、ジョグレバーを押す。**

5 **ジョグレバーを押し、バンドを選ぶ。**

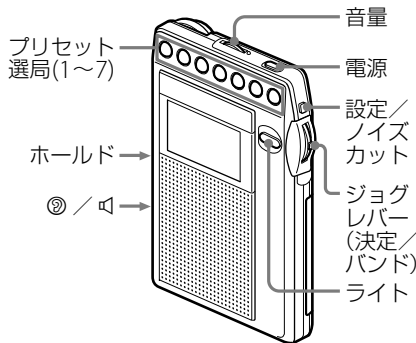
6 **プリセット選局ボタン(1〜7)を押し、聞きたい放送局を選ぶ。**

> **プリセット選局ボタンは2秒以上押さない**
> 2秒以上押すと、「ピピッ」という音とともに、記憶されていた放送局が受信している放送局に入れ換わってしまいます。ご注意ください。

7 **音量つまみで音量を調節する。**

記憶させた放送局を変更する

「放送局を記憶させる」の手順4で、放送局を受信し、変更したいボタンを押します。
前に記憶させた放送局は消え、受信している放送局が記憶されます。

周波数を選んで聞く
—マニュアル選局

1 **電源を入れる。**

表示窓に「o━」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「o━」表示を消してください。

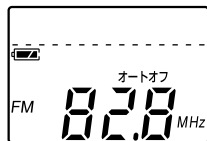
次ページへつづく

2 ◎／◁切り換えスイッチで◎(イヤーレシーバー)または◁(スピーカー)を選ぶ。

◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 ジョグレバーを押して、バンドを選ぶ。

4 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして、聞きたい放送局に合わせる。

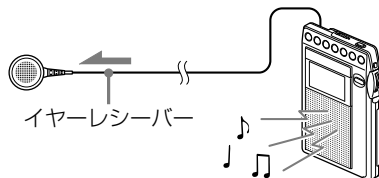
ジョグレバーを1回動かすごとに周波数が変わります(FMでは0.1MHz、AMでは9kHzずつ)。放送局の周波数が合うと、放送が聞こえます。

5 音量つまみで音量を調節する。

受信状態をよくする

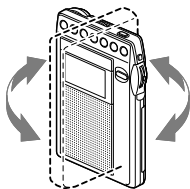
携帯電話の近くでラジオに雑音が入る場合は、携帯電話の電源を切るか、ラジオから離してみてください。

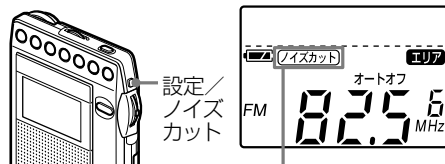
FM放送の場合

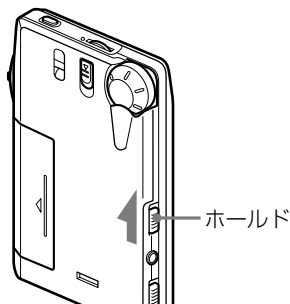
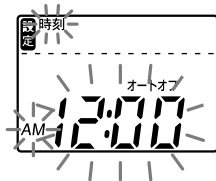
FM放送を聞くときは、お使いのイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

別売のイヤーレシーバーを使用するときは、⑨端子に別売のイヤーレシーバーをつなぎ、コードをできるだけ長く伸ばしてください。内蔵のイヤーレシーバーを引き出す必要はありません。

AM放送の場合

アンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。もっとも良く受信できる向きにしてお聞きください。

電波が弱く、雑音が気になるときは

ラジオ受信中に、設定／ノイズカットボタンをピピッと鳴るまで2秒以上押してください。

ノイズカットを解除する

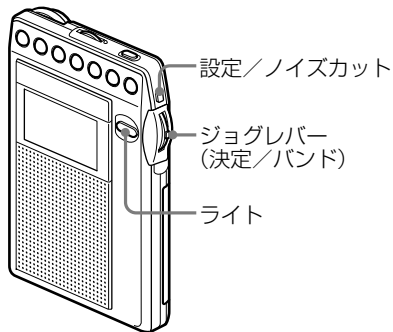
設定／ノイズカットボタンをピッと鳴るまで2秒以上押すと表示窓の「ノイズカット」が消えます。

誤操作を防ぐ—ホールド機能

ホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、表示窓に「⊶」が点灯し、すべてのボタン操作を受け付けなくなります。
不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

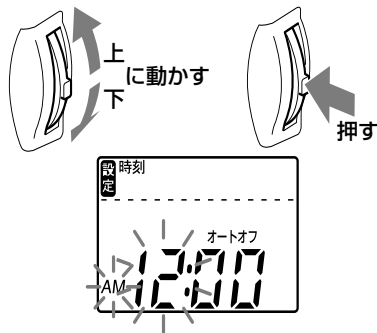
ホールド機能を解除する

ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かすと表示窓の「⊶」が消えます。

▶時計を使う

時計を合わせる

1　設定／ノイズカットボタンを押す。

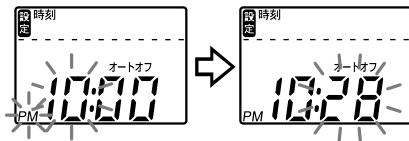
表示窓に「o━ı」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「o━ı」表示を消してください。

2　ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「時刻」を選び、ジョグレバーを押す。

誤操作を防ぐ／時計を合わせる

次ページへつづく

3　ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして時を合わせ、ジョグレバーを押す。

AMは午前、PMは午後です。

AM12:00 ＝ 真夜中、PM12:00 ＝ 正午

4　手順3と同じ操作で分を合わせ、ジョグレバーを押す。

表示窓の「:」が点滅を始め、時計が動き出します。

時報（電話117番など）と同時にジョグレバーを押すと、より正確な時刻が設定できます。

設定を途中でやめたいときは

もう一度設定／ノイズカットボタンを押します。

ご注意

設定／ノイズカットボタンを押してから60秒以上操作しないと、自動的に設定／ノイズカットボタンを押す前の状態に戻ります。

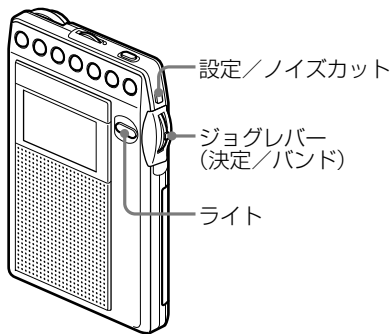
希望の時刻にブザーを鳴らす—アラーム機能・タイマー機能

ラジオの電源の入切にかかわらず、希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。

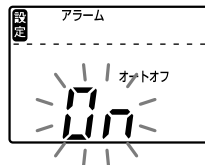
アラームを設定する

(•)アラーム ：何時何分と時刻を設定する

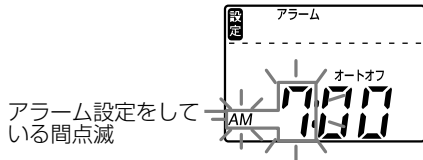
必ず時計合わせを行ってください。

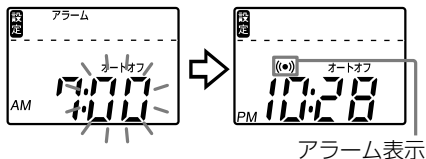
（34ページ参照）

1 設定／ノイズカットボタンを押す。

2 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「アラーム」を選び、ジョグレバーを押す。

3 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「On」を選び、ジョグレバーを押す。

次ページへつづく

4 **ジョグレバーを押し込まずに上下に動かしてブザーを鳴らす「時」に合わせ、ジョグレバーを押す。**

例)午前7時に鳴らす

5 **手順4と同じ操作で「分」を合わせ、ジョグレバーを押す。**

手順1を行う前の状態に戻り、「((•))」が表示されます。

設定した時刻になるとブザーが鳴ります。

ちょっと一言

- ブザーの音量は一定です。
- ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

ブザーを止めるには

どのボタンを押しても止まります。ホールド機能を働かせていてもブザーは止まります。止めない場合は約3分間鳴り続けます。

アラームを解除するには

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「((•))」が消えます。

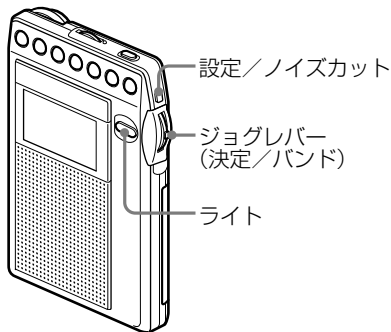
設定を途中でやめたいときは

もう一度設定／ノイズカットボタンを押します。

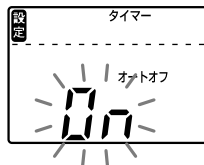
ご注意

- 時計を合わせていないとき(「AM 12:00」が点滅している状態)はアラームを設定できません。
- アラームの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定／ノイズカットボタンを押してから60秒以上操作しないと、自動的に設定／ノイズカットボタンを押す前の状態に戻ります。

タイマーを設定する

⌚タイマー ：1分後から180分後(3時間後)まで、1分刻みで設定する

1 設定／ノイズカットボタンを押す。

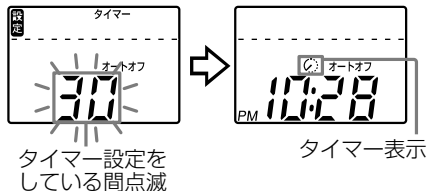
2 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「タイマー」を選び、ジョグレバーを押す。

3 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「On」を選び、ジョグレバーを押す。

次ページへつづく

4 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして何分後にブザーを鳴らすかを選び、ジョグレバーを押す。

手順1を行う前の状態に戻り、「◌」が表示されます。

1分後から180分後(3時間後)まで、1分刻みで設定できます。

例)30分後に鳴らすとき

設定した時間が経過するとブザーが鳴ります。

ちょっと一言

- ブザーの音量は一定です。
- ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

ブザーを止めるには

どのボタンを押しても止まります。ホールド機能を働かせていてもブザーは止まります。止めない場合は約3分間鳴り続けます。
ブザーを止めるとタイマーは解除されます。

タイマーを解除するには

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「◌」が消えます。

設定を途中でやめたいときは

もう一度設定／ノイズカットボタンを押します。

ご注意

- タイマーの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定／ノイズカットボタンを押してから60秒以上操作しないと、自動的に設定／ノイズカットボタンを押す前の状態に戻ります。

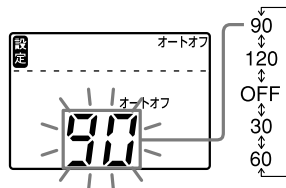
一定の時間後に電源を切る—パワーオートオフ機能

ラジオの電源の消し忘れによる電池のむだな消耗を防ぐため、一定時間(30分、60分、90分、120分)が過ぎると自動的に電源が切れるように設定できます。この機能を解除することもできます。

1 設定/ノイズカットボタンを押す。

2 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして「オートオフ」を選び、ジョグレバーを押す。

3 ジョグレバーを押し込まずに上下に動かして設定したい時間を選び、ジョグレバーを押す。

ジョグレバーを動かすと設定時間が次のように変わります。

パワーオートオフ機能を解除する

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「オートオフ」が消えます。

ちょっと一言

充電スタンドにのせてラジオを聞いているときもパワーオートオフ機能は働きます。ラジオを聞き続けたいときは、手順3で「OFF」を選び、機能を解除してください。

使用上のご注意

充電式電池の廃棄について

このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収･リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

ACパワーアダプターについて

- ICF-R353に付属のACパワーアダプターまたは「別売りアクセサリー」に記載されている「ラジオ用充電キットBCA-TRG2KIT」のACパワーアダプターをご使用ください。下記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

極性統一形プラグ　JEITA規格

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  －本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。

– 火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

- 電源コンセントから抜くときは、必ずACパワーアダプターの本体部を持って抜いてください。
- 本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

温度上昇について

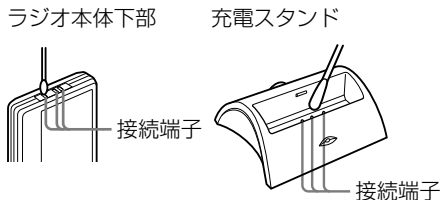
本機を充電中または、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

お手入れについて

本機のお手入れについて

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

接続端子のお手入れについて

定期的にラジオ本体と充電スタンドの各接続端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。

置き場所について

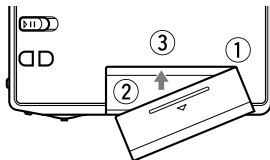
次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内(とくに夏季)。
- 風呂場など、湿気が多いところ。
- ほこりが多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(40℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  - ほこりの多いところ。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口(裏表紙)またはソニーサービス窓口に相談してください。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、下図の番号に従って取り付けてください。

① ふたの右のツメを穴に差し込み、
② 左のツメをふたが収まる部分の左側に引っ掛ける。
③ そのまま左のツメを穴に向けて滑らせる。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな?と思ったら

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
ラジオの音がまったく聞こえない	電池を入れる向きが正しくない。	充電式電池または乾電池を正しく入れる。
	電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。乾電池使用時、乾電池を新しいものと交換する。
	ACパワーアダプターがきちんと差し込まれていない。	ACパワーアダプターを充電スタンドの端子とコンセントにしっかり差し込む(15ページ)。
	音量が最小になっている。	音量つまみで音量を調節する。
ラジオ本体を充電スタンドにのせているのに、ラジオが聞こえない	ACパワーアダプターがきちんと差し込まれていない。	ACパワーアダプターを充電スタンドの端子とコンセントにしっかり差し込む(15ページ)。
雑音が多く、音が悪い	電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。乾電池使用時、乾電池を新しいものと交換する。
	電波が弱い。	建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。
	イヤーレシーバーを引き出していない(FM受信時)。	イヤーレシーバーを白色のエンドマークが見えるまで引き出す(FM受信時はイヤーレシーバーがアンテナになります)。

次ページへつづく

症状	原因	処置
雑音が入る	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などを本機から離して使用する。
プリセット選局ボタンを押しても、聞きたい放送局が受信できない	正しい番号のプリセット選局ボタンを押していない。	聞きたい放送局のプリセット選局ボタンを押す。
	正しいエリアを選んでいない。	設定メニューで「エリア」を選んで、現在ラジオを使っているエリア(地域)を設定する(22ページ)。 それでも受信できない場合は設定メニューで「中継局」を選んで、中継局を設定する。 エリアによって記憶されている放送局は異なります。付属の「周波数一覧表」をご覧ください。
表示窓の文字や記号が見づらい	極端に暑い場所や寒い場所で使っている。	温度が高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)では表示が見にくくなることがあります。常温になればもとに戻ります。
マイメモリー選局ができない	「選局モード」が「マイ」になっていない。	もう一度マイメモリー選局を設定する(28ページ)。
ラジオの電源が突然切れた	電池が消耗している。	充電式電池使用時、充電する。乾電池使用時、乾電池を新しいものと交換する。
	パワーオートオフ機能が働いている。電源を入れてから設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れるようになっています。	パワーオートオフ機能を解除する(41ページ)。

症状	原因	処置
充電スタンドの充電ランプが点灯しない	ラジオ本体または充電スタンドの端子が汚れている。	端子をきれいにクリーニングする。
	ラジオ本体が正しい向きで充電スタンドに置かれていない。	正しい向きで充電スタンドに置く（15ページ）。
充電スタンドの充電ランプが点滅している	乾電池が入っている。	充電式電池を入れる。
	充電式電池が入っていない。	充電式電池を入れる。
	充電式電池を入れる向きが正しくない。	正しい向きで充電式電池を入れる。
充電式電池の持続時間が短い	10℃以下の環境で使用している。	電池の特性によるもので故障ではありません。
	しばらく使用していなかった。	何回か充電、放電（ラジオ本体に入れ使用する）を繰り返す（16ページ）。
	充電式電池の交換が必要。	新しい充電式電池と交換する。
乾電池の持続時間が短い	0℃以下の環境で使用している。	電池の特性によるもので故障ではありません。
	電池が消耗している。	新しい単4形乾電池と交換する（19ページ）。

正しく動かないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご連絡ください。
修理内容により、マイメモリー選局で記憶させた放送局が消えてしまう場合があります。
重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。

主な仕様

ラジオ本体

受信周波数

	周波数範囲	周波数ステップ
FM	76 MHz～108 MHz	0.1 MHz
AM	531 kHz～1,710 kHz	9 kHz

スピーカー　直径2.8 cm、丸形7.2 Ω 1個

出力端子　◎端子（ミニジャック Φ3.5 mm）1個

実用最大出力　80 mW (JEITA*[1])

電源　DC 1.2 V、単4形充電式ニッケル水素電池1個
DC 1.5 V、単4形乾電池1個

パワーオートオフ機能
約30分、60分、90分、120分、解除の5段階

最大外形寸法　約55 mm × 91 mm × 12.3 mm　(突起部含まず)
約58.3 mm × 91.7 mm × 15.1 mm　(突起部含む)
(幅×高さ×奥行) (JEITA*[1])

質量　約74 g（充電式ニッケル水素電池含む）
約71 g（乾電池含む）

充電スタンド*[2]

電源　DC 6 V

最大外形寸法　約73.2 mm ×29.8 mm × 57.5 mm
(幅×高さ×奥行) (JEITA*[1])

質量　約48 g

ACパワーアダプター *[2]

電源	DC 6 V、AC 100 V、50/60 Hz
最大外形寸法	約43 mm ×57 mm ×41 mm (幅×高さ×奥行) (コード含まず) (JEITA*[1])
質量	約186 g

別売りアクセサリー

ラジオ用充電キット　BCA-TRG2KIT
（充電スタンドBCA-TRG2、ACパワーアダプター、単4形充電式ニッケル水素電池（バッテリーキャリングケース付）のセットです。）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*[1] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

*[2] ICF-R353にのみ付属しています。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ラジオをもっとクリアに聞きたい

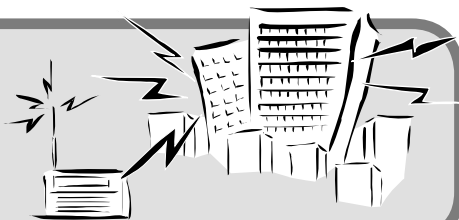
室内や電車の中などでは電波が弱く、ラジオがはっきり聞こえない！ という経験をされた方も多いかと思います。
でも、ちょっとした工夫で、あなたのラジオを今までよりスッキリハッキリ聞くことができます。

では早速そのポイントをご紹介しましょう。

イラストはお買い上げの製品と異なる場合があります。

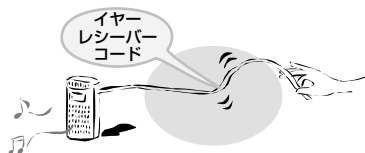
Point 1

ラジオはアンテナが命。

空間を飛び交う電波を捕らえるのがアンテナです。アンテナには指向性(受信感度の良い方向と悪い方向)があるので、ラジオがもっともよく受信できる方向に動かす必要があるのです。

放送の種類が違うと
アンテナの調整のしかたも違う？

そうなんです。
放送の種類によってアンテナの調整方法が違うのです。では、ラジオを聞きながら実際にアンテナを調整してみましょう。

FM放送を聞くときは？

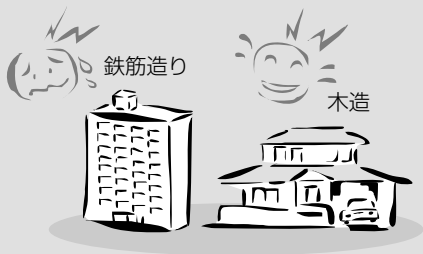
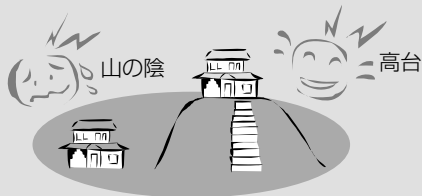
イヤーレシーバーコードを一番よく聞こえる方向に動かします。

ロッドアンテナや他の受信アンテナ（リードアンテナ）を持たないラジオの場合、イヤーレシーバーコードがFM用のアンテナとして働きます。スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーコードはアンテナとして長く伸ばしたままお使いください。イヤーレシーバーコードをできるだけ長く伸ばし、一番よく聞こえる方向に動かします。

AM(MW)放送を聞くときは？

アンテナがラジオ本体に内蔵されているので、ラジオの向きを変えてみます。

・・・一番よく聞こえる向きが見つかりましたか？

Point 2 聞く場所が大切。

家が鉄筋造りだと木造よりも電波が届きにくいことをご存知ですか？さらに、高台にある家と低い場所にある家でも違いがあります。電車も同じです。場所によっては電波の届きかたが全然違うのです。

できるだけ窓のそばで

電波は外から入ってきます。出来るだけ窓のそばで聞きましょう。
窓の向きによっても違いがあるので、一番よく聞こえる窓を探してみてください。
いかがですか？

携帯電話から離してみる

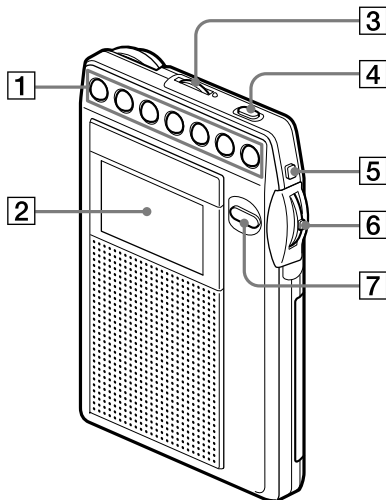
携帯電話の近くでラジオを聞くと雑音が入ることがあります。携帯電話は通話中だけでなく、待ち受け中も電波を出しています。雑音が入る場合は、携帯電話の電源を切るか、ラジオから離してみてください。

Point
3

ラジオが鳴らない！
突然電源が切れる！
すぐに電源が切れる！

乾電池が消耗すると音が小さくなったり、ひずんだりします。そのときは、すべて新しい乾電池と交換してください。
オートオフ機能が付いているラジオの場合はオートオフ機能が働いているので再び電源を入れてください。

各部のなまえ

本体表面

1 **プリセット選局(1～7)**＊1
（25、27、29、31ページ）

2 **表示窓**（58ページ）

3 **音量**＊1

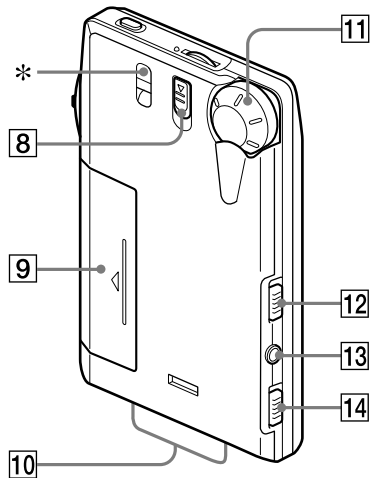
4 **電源**

5 **設定／ノイズカット**

6 **ジョグレバー(決定／バンド)**
（24、35ページ）

7 **ライト**

＊1 音量ダイヤル近くの音量を上げる側とプリセット選局の4番（中央）のボタンには凸点がついています。操作の目印としてお使いください。

ラジオ本体裏面

8 **巻き取り**（20ページ）

イヤーレシーバー使用後はこのつまみを矢印の方向にずらしてコードを巻き取ります。

9 **電池入れ**（15、18ページ）

10 **充電スタンド接続端子**

11 **イヤーレシーバー**（20ページ）

12 **ホールド**

13 **(イヤーレシーバー)端子**

別売りのイヤーレシーバーをつないで聞くことができます。（Φ3.5mm イヤーレシーバー）

14 **／切り換え**

(イヤーレシーバー)に合わせるとイヤーレシーバーから、(スピーカー)に合わせるとスピーカーから音が聞こえます。

＊ **ストラップを取り付けることができます。**

表示窓

1 **設定モード名表示**

2 **ノイズカット表示**（33ページ）
ノイズカット機能が働いているときに表示される。

3 **電池残量表示**（16、19ページ）
電池の残量が表示される。

4 **ホールド表示**（34ページ）
ホールド機能が働いているときに表示される。

5 **アラーム表示**（37ページ）
アラームが設定されているときに表示される。

6 FM･AMバンド／ AM･PM表示
受信中は受信している放送局のバンド、電源を切っているときは時刻の午前／午後（AM ／ PM）が表示される。

7 **オートオフ表示**（41ページ）
パワーオートオフ機能が設定されているときに表示される。

8 **エリア表示**（22ページ）
スーパーエリアコール選局モードで受信しているときに表示される。

9 **マイ表示**（28ページ）
マイメモリー選局モードで受信しているときに表示される。

10 **タイマー表示**（39ページ）
タイマーが設定されているときに表示される。

⑪ プリセット選局番号表示

（22、28ページ）

プリセット選局で受信しているときは、選択されているプリセット選局ボタンの番号が表示される。また、中継局を選ぶときに番号が表示される。

⑫ ラジオ周波数／時刻表示

設定モード一覧

電源	モード名（参照ページ）	機能
入っていても切ってあっても設定可能	時刻設定（34）	時刻を合わせる
	アラーム設定（37）	設定した時刻にブザーを鳴らす
	タイマー設定（39）	設定時間後にブザーを鳴らす
	パワーオートオフ設定（41）	自動的に電源を切る（120分・90分・60分・30分・OFF）
	エリア設定（22）	ラジオを使う地域を選ぶ
入っている時のみ設定可能	選局モード（エリア／マイ）設定（22・28）	エリア：スーパーエリアコール選局で選局した放送局を聞く マイ：マイメモリー選局で記憶させた放送局を聞く
	中継局設定（27）	中継局を選ぶ

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「304」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1